

市野輸送

【静岡】市野輸送（飯田順一社長、静岡県磐田市）の主力は樹脂部品輸送で、浜松地区を拠点とする二輪車メーカー向け部品を配送し順調に業績を伸ばしてきた。しかし、近年は二輪車の生産ラインが縮小。工場が海外に移転するなど配送量が減少し、事業の転換を迫られている。

飯田社長は「大手事業者ができない隙間仕事を手掛けるようにし、車両の回転率を上げるようにしている」と話す。リーマン・ショックがあ

った2008年ごろから荷主企業を増やすよう心掛け、半日だけの仕事や週に1便だけの不安定な配送も、積極的に引き受けるようにした。現在はこれまで8割程度だった主力製品の配送比率が6割程度となり、「以前は1社だけで

済んでいた伝票が、今は大量になった」と笑う。

しかし、やみくもに仕事を請けるわけではなく、選択の基準として、「時間の読める仕事とそうでないもの」で判断。車両とドライバーの拘束時間を計算しながら、効率の

「車両の位置確認ができるGPS（全地球測位システム）機能が便利。急な配送依頼にどの車両が対応できるか

クラウド型デジタコ導入

良い配車で利益を確保している。こうした状況に、最新のデジタコグラフが威力を発揮している。データカードが更新時期となった昨年、リアルタイムで動態管理のできる

すぐに判断できる」。最近では、「休憩中のドライバーの携帯電話がつかないため帰り荷依頼が手配できず困ったが、GPSで車両位置が確認でき、無事荷物を積ませることができた」とエピソード



飯田社長

「隙間仕事」で回転率アップ

を話す。

速度やエンジン回転数もリアルタイムで確認できるため、「安全運転は当然だが、省エネドライブを推進して燃費の節減に役立てたい」と意



気込む。機能を十分に活用しながら、安全で高効率な配送で業務拡大につなげる考えだ。

（奥出 和彦）